

# ほんとうに怖い歯周病

なぜ歯周病は怖いのでしょうか。皆さんは知っていますか？  
気付かない間に進行し、手遅れになりやすい歯周病。

歯周病の進行の仕方や症状の現れ方を学び、歯周病予防を心掛けましょう！

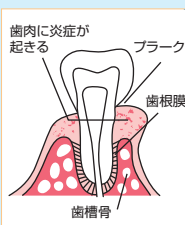
## 歯周病の怖い理由

- 理由は4つあります。
- ①多くの場合痛みがなく、気付かないうちに進行し、気付いた時にはかなり重症になっている
  - ②歯そのものではなく、歯を支える周りの組織を破壊してしまい、歯がぐらぐらして食べ物をかむと痛くなる。重症の場合は、歯を抜いたり、自然に抜けたりする
  - ③1本のみではなく、数本から全部の歯にわたることがある。そのため、入れ歯になる
  - ④歯と歯茎など口の中だけの問題ではなく、細菌性心内膜炎・心筋梗塞（こうそく）などの心臓疾患や、動脈硬化、脳血管障害、肺炎、低体重児出産など全身疾患への影響がある

## 歯周病はこんなふうに行進します

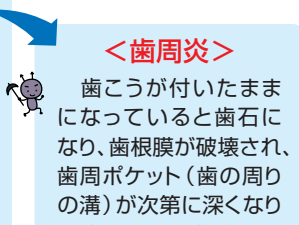
### <歯肉炎>

歯の根元に歯こう（プラーク）がたまると、その周りの歯肉に炎症が起きます。歯磨きの時や硬い物を食べると、出血することがあります。




### <歯周炎>

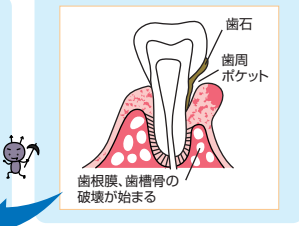
歯こうが付いたままになっていると歯石になり、歯根膜が破壊され、歯周ポケット（歯の周りの溝）が次第に深くなり炎症も進み、歯槽骨の破壊が始まります。



### <重度歯周炎>

そのまま炎症が進むと歯槽骨がさらに破壊され、歯肉も下がり、歯がぐらぐらになります。歯の周りから出血やうみも多く見られるようになります。





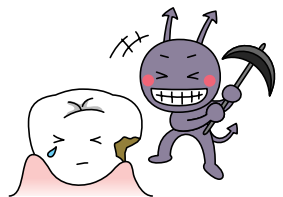
## 自覚症状は

自覚症状には、次のようなものがあります。項目に当てはまるものが多ければ、歯周病の可能性が高いです。  
チェックしてみましょう。

歯を磨くと血が出る
歯茎が赤く腫れている
歯や歯茎がしみる
口臭がする
歯が以前より長くなった
歯がぐらぐらして硬い物がかみにくい

## 歯周病検診を受けましょう

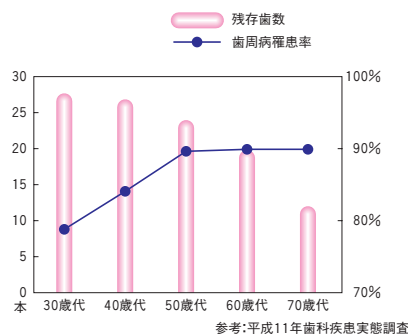
残念なことに、歯周病にかかっている人の割合、残っている平均の歯の数は、下のグラフのようになります。特に40歳を過



ぎたころから急に歯周病で歯を失う率が高くなります。自覚症状がなくても歯周病が発症、進行していることがあります。それらを早期に発見し、治療するために検診を受けましょう。

## 可児市歯周病検診

歯周病を早期発見するために、市は歯周病検診を実施します。  
対象年齢は平成17年4月1日現在で40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳です。  
個人負担金は500円ですが、生活保護法による被保護世帯に属する方や老人保健法医療受給者証をお持ちの方、平成18年4月1日までに70歳以上の人は無料です。  
詳細は、健康増進課まで問い合わせてください。



●問合先 健康増進課